

令和5年度 学校経営計画

四條畷市立四條畷小学校

校長 藤原 吉直

1 学校経営方針

【学校教育目標】

「よく考えてやりぬく子 力を合わせてがんばる子 丈夫な体と豊かな心を持つ子」

四條畷市教育振興基本計画の掲げる基本理念「みんなの学びが叶うまち～生涯 学び 夢 挑戦～」を本校の理念に据え、積極的に新たな取り組みを実践していく。変化の激しいこれからの社会を生きていくためには、あらゆる人々と共に学び、互いの意見を尊重し、直面する課題に対して、柔軟かつ真摯に対応していく力が求められる。その力の基盤を育成する学校教育において、知「確かな学力」、徳「豊かな心」、体「健やかな体」をバランスよく育て、児童に「生きる力」を育成していきたい。新学習指導要領に準拠した「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざし、教育の情報化や授業づくりの工夫などに取り組む。

基礎学力の習得は、単に知識を覚えるだけでなく、問題解決能力や発想力、表現力などの能力を養う学びにつながるよう、学習指導や教育方法を工夫する。読書教育や英語教育にも注力する。

児童会活動などの児童が交流する活動を活発にする。すべての児童にとって安全安心な学校づくりを進める。様々な角度から十分な配慮を行い、両校の児童・教職員・保護者のよりスムーズな接続を実現していきたい。特に、不安をかかえる児童がいないかなど、全教職員で現状や課題を共有する。

不登校をはじめとする児童の生活指導上の課題解決にも取り組む。基礎学力の向上と児童の不登校の減少は密接に関係していると考えられ、不登校の原因として、学校に対するストレスや、学校における人間関係の問題も挙げられる。主体的・対話的な学びにより、児童同士の交流が増えることで、ストレスや人間関係の問題を軽減することが期待される。また、興味関心に合わせた学びが推進されることで、児童が学びたいと思うことに取り組める環境が整い、学校に対するモチベーションが高まり、不登校の改善につながることを期待される。

2 めざす学校像、子ども像、教師像（中期目標）

★めざす学校像	子どもたち一人ひとりがより輝く「新しい学校」
★めざす子ども像	よく考えてやりぬく子 力を合わせてがんばる子 丈夫な体と豊かな心を持つ子
★めざす教師像	学ぶ意欲を引き出す教師 常に学び続ける教師

(様式1)

3 学校の現状（よさと課題）

（1）子どもたちの実態

本校は市内では最多の児童数と、非常に広い校区を擁する小学校となった。児童は総じて子どもらしく、明るく健やかな様子で過ごしている。しかしながらこれまで、学力向上のための取組の効果は全体的に上がりにくく、不登校などの生活指導上の課題もみられる。

（2）子どもたちを取り巻く環境

①教育環境・・・校区全体において、子どもたちが明るく健やかに育つ環境がある。

②地域・・・昔からの伝統のある地区を擁し、学校に協力的である。

③組織（教職員、PTA、保護者）

・教職員は児童の指導に熱意があり、丁寧な学級づくりと学習指導に前向きに取り組む雰囲気がある。児童が授業に集中し、学習することができるよう、授業の進め方や教材の選定を工夫し、興味を持って学ぶことができるようにしてきた。また、児童が抱える問題や悩みに真摯に向き合い、解決のためのサポートを提供し、さらに、児童が自信を持って学ぶことができるように、彼らの長所や能力を引き出すための指導を心がけている。

・PTAも歴史と伝統を引き継ぎ、代々学校と連携してPTA活動を行ってきており、今も躰小にはPTAとは別に後援会が存在している。

・保護者は、学校に協力的な方が多い。最近PTAの在り方に多くの関心が寄せられ、本校保護者の中でも様々な意見がある中、現役員さんを中心に、子どもたちのために楽しい行事等を考えて、持続可能な活動を進めようと精力的に推進して下さる方は多い。

4 今年度の達成目標、具体的な方策

目標設定区分1 『学校経営』

A 今年度の成果目標	達成基準（各種調査、アンケート等）
学力の向上と、主体的に考え行動する「生きる力」をはぐくむ教育の推進	学力向上アンケート・学校教育自己診断・全国学力学習状況調査・NRT・全国運動能力調査 A「自分に合った本を選ぶことができますか」 B「理科・生活科で学習したことを普段の生活の中で使っていますか」 C「ICT 機器を活用することで、学習が楽しくなりましたか」 D「ICT 機器を活用することで、進んで学習するようになりましたか」 E「授業づくりでは、教科の目標を達成させるために必要な対話的な活動を取り入れることができているか」 F「支援教育の視点から、指導上の工夫を行いましたか」 G「子どもは、学校に行くのを楽しみにしている」 H「子どもは、自分の学級は楽しいと言っている」 I「子どもは、授業が分かりやすいと言っている」

(様式1)

B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
・学力向上の取組み	・ NRT 全国平均以上 ・ 全国学力学習状況調査全国平均以上 ・ AB 90%以上	・ 教育課程の編成と授業時数の確保・授業内容の充実 ・ 国語力の継続した育成と新たな理科教育への取組み。 ・ 読書活動の充実 ・ 学力学習状況調査等の結果の分析と活用 ・ 教員の授業力向上
・ 主体的・対話的で深い学び	・ CDE 90%以上	・ 子ども主体の授業づくり 指導と評価の一体化 ・ ICT を活用した学習活動の推進
・ 障がいのある子どももの自立支援	・ F 90%以上	・ 「ともに学び、ともに育つ」教育の推進 ・ 一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援の充実 ・ 合理的配慮についての適切な対応
・ 豊かな心の育成	・ GHI 90%以上	・ 人権尊重の教育の推進 ・ 道徳性を育むための心の教育の充実 ・ いじめ・暴力行為等の問題行動や不登校への取組み ・ 郷土教育と読書活動の推進
・ 体力向上と健康安全教育の推進	・ 全国運動能力調査 大阪府平均以上	・ 体力向上の取組みの推進 ・ 健康安全教育・食育の推進

目標設定区分2 『学校組織の運営』

A 今年度の成果目標	達成基準（各種調査、アンケート等）	
学校の組織力の向上と安心安全の確保	学力向上アンケート・学校教育自己診断・校長の学校運営に関するシート A「学校全体の学力傾向や課題について、全教職員の間で共有していますか」 B「子どもは、学校に行くのを楽しみにしている」 C「子どもは、自分の学級は楽しいと言っている」 D「子どもは、授業が分かりやすいと言っている」 E「事故や問題事象の発生時に、組織的な対応ができるよう、危機管理体制を周知徹底している」 F「課題解決に向け、教職員が総体として動くよう、校長としてリーダーシップを発揮している」	
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
・ 校内研修	・ A 90%以上	・ 校内研修を様々な形式で充実させ、全員が主体的に関われるようにする
・ 生活指導	・ BCDEF 90%以上	・ いじめ、不登校、虐待などに組織で対応

(様式1)

・自然災害等に備えた体制の充実・防災教育の取組み・コロナ対策	・EF 90%以上	・災害に備えた危機管理体制の確立 ・感染症対策や児童虐待への対応
--------------------------------	-----------	-------------------------------------

目標設定区分3 『人の管理・育成』

A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）
教職員の資質能力の向上と人材育成		校長の学校運営に関するシート A「教員の授業力の向上をめざし、授業観察後の指導・助言を適切に行っている」 B「業務量の多い教職員への声かけを行うなど、仕事の一部に偏りすぎないように配慮し、業務の分配に努めている」 C「教職員が協力して、円滑に職務を進めるため、適切な指導・助言を行っている」 D「体罰、セクシャルハラスメントやパワーハラスメント等のない、人権が尊重された学校環境づくりに努めている」
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
・教職員の組織的・継続的な人材育成	・A 90%以上	・教職員が互いに高め合う職場環境づくり ・キャリアに応じた役割分担とミドルリーダーの育成 ・研修の計画的な実施と研修成果の還元
・教職員の働き方改革	・BCD 90%以上	・業務の見直し ・ICTを活用した省力化 ・業務量の分配や最適化
・不祥事の防止	・D 90%以上	・研修等による未然防止の取組み

目標設定区分4 『地域連携と渉外』

A 今年度の成果目標		達成基準（各種調査、アンケート等）
家庭・地域・学校の連携、協働の推進		学力向上アンケート・学校教育自己診断 A「学校の教育活動の内容や様子はよくわかる」 B「子どものことについて、気軽に学校に相談できる」 C「学校の授業時間以外に、普段一日あたりどれくらいの時間、勉強しますか」 D「学校の授業時間以外に、普段一日あたりどれくらいの時間、読書をしますか」

(様式1)

B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
・ 学校教育目標、めざす子ども像の共有	・ AB 90%以上	・ 校種間の円滑な接続と共有 ・ 小・中学校での取組の推進
・ 学校運営協議会の活性化	・ 会議で計画した活動を実行する	・ 学校運営協議会の運営推進 ・ 課題の整理と次年度の目標の共有化
・ 家庭教育支援の充実	・ CD 「全くしない」をともに10%以下	・ 家庭教育支援の体制づくり